



平成29年度森林総合監理士育成事業 (実践研修)

1. 研修日程： 平成29年11月8（水）～10（金）
2. 研修会場： 九州森林管理局
3. 現地実習： 熊本市北本妙寺（国有林）
4. 参加者： 23名
 県職員15名 国有林職員8名



研修目標

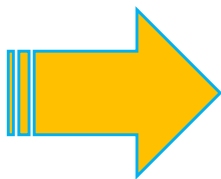
フォレスター活動を実践していく上で必要な知識・技術を補強し、レベルアップを図る。

■林業の成長産業化を図るためには、「施業の集約化」と併せて、地域の条件に応じた低コスト・高効率な作業システムを構築する必要

■このため、「路網の整備」、「高性能林業機械の導入」等の合理的な組合せにより、生産性の向上を推進。高密度な路網整備が困難な急傾斜地では、「架線集材」も活用

■また、造林・保育コスト削減のため、コンテナ苗・大苗・成長に優れた種苗の導入や、低密度植栽等を推進する必要

現地検討



■ 林業の成長産業化を図るためには、「施業の集約化」と併せて、地域の条件に応じた低コスト・高効率な作業システムを構築する必要

■ このため、「路網の整備」、「高性能林業機械の導入」等の合理的な組合せにより、生産性の向上を推進。高密度な路網整備が困難な急傾斜地では、「架線集材」も活用

■ また、造林・保育コスト削減のため、コンテナ苗・大苗・成長に優れた種苗の導入や、低密度植栽等を推進する必要



①作業システム ②路網配置 ③更新の考え方 ④その他（生産ロット・作業性・安全性等）について検討

班内における
グループ検討・
発表取りまとめ
の様子（KJ法）



平成29年度 実践研修
〈九州ブロック〉



研修お疲れ様でした！